HA8000V／DL380 Gen12（8SFFモデル ／ 24SFFモデル ／ 8LFFモデル ／ 12LFFモデル ／ 12EDSFFモデル） 機器仕様

モデル名			DL380 Gen12				
筐体タイプ	筐体サイズ		ラックサーバー[2U]				
	標準ドライブケージ		8SFF	24SFF	8LFF	12LFF	12EDSFF
プロセッサー	種類・最大搭載数		インテル® Xeon® 6プロセッサー、最大2プロセッサー				
	周波数／コア数	インテル® Xeon®6プロセッサー Performance-Cores (P-Cores)	Xeon 6787P(86C/2.0GHz/350W), Xeon 6767P(64C/2.4GHz/350W), Xeon 6760P(64C/2.2GHz/330W), Xeon 6747P(48C/2.7GHz/330W), Xeon 6740P(48C/2.1GHz/270W), Xeon 6730P(32C/2.5GHz/250W)				
メモリー	最大容量 *1	インテル® Xeon®6プロセッサー搭載時	8.0 TiB (32 x 256 GiB RDIMM @ 6400 MT/s)	4.0 TiB (32 x 128 GiB RDIMM @ 6400 MT/s) 4.0 TiB (16 x 256 GiB RDIMM @ 6400 MT/s)	8.0 TiB (32 x 256 GiB RDIMM @ 6400 MT/s)	4.0 TiB (32 x 128 GiB RDIMM @ 6400 MT/s) 4.0 TiB (16 x 256 GiB RDIMM @ 6400 MT/s)	8.0 TiB (32 x 256 GiB RDIMM @ 6400 MT/s)
	最大搭載枚数		1CPU時：16 / 2CPU時：32				
	仕様		DDR5 Registered DIMM , Advanced ECC, Mirroring, Adaptive Double DRAM Device Correction (ADDDC) *2				
表示機能	VRAM		16MB				
	最大表示解像度（表示色） *3		32ビットカラー：1920×1200				
ハードドライブ (本体内蔵)	ドライブベイ	SFF	標準8もしくは24、オプションで最大30 (2.5 インチSFF SAS / SATA / NVMe)		—		—
		EDSFF	—		—		標準12、オプションで最大36 (EDSFF NVMe)
		LFF	—		標準8もしくは12、オプションで最大20 LFF (3.5 インチLFF SAS / SATA)		—
	最大容量 *4	SFF SAS HDD	72TB (SFF 2.4TB×30)		—		—
		SFF SATA HDD	—		—		—
		LFF SAS HDD	—		480TB (LFF 24TB×20)		—
		LFF SATA HDD	—		480TB (LFF 24TB×20)		—
		SFF SAS SSD	460.8TB (SFF 15.36TB×30)		—		—
		SFF SATA SSD	230.4TB (SFF 7.68TB×30)		—		—
		LFF SAS SSD	—		19.2TB (LFF 960GB×20)		—
		LFF SATA SSD	—		19.2TB (LFF 960GB×20)		—
		SFF NVMe SSD	460.8TB (SFF 15.36TB×30)		—		—
		EDSFF NVMe SSD	—		—		552.96TB (EDSFF 15.36TB×36)
	サポート容量		サポートHDD/SSD容量は構成ガイドにてご確認願います。				
	ホットプラグ		ホットプラグ可能 *5		ホットプラグ可能 ※4LFF ミッドプレーンドライブケージは、ホットプラグ非対応		ホットプラグ可能 *5
内蔵ディスク用 アレイコントローラー	対応アレイコントローラー *6		MRxxxiシリーズおよびVROC(未サポート)				
光学ドライブ			DVD-ROM/DVD-RW （内蔵および外付けオプション）	外付けDVDドライブ (オプション)	DVD-ROM/DVD-RW （内蔵および外付けオプション）	外付けDVDドライブ (オプション)	外付けDVDドライブ (オプション)
拡張スロット	PCI Express		標準搭載プライマリライザー：PCI-Express 5.0(x8)：1(フルハイト/フルレングス)、PCI-Express 5.0(x16)：1(フルハイト/フルレングス)、PCI-Express 5.0(x8)：1(フルハイト/ハーフレングス) ※オプションライザーによりスロット仕様を変更可能です。				
	OCP		2スロット *7*8				
標準インターフェース	標準ネットワーク		オンボードLAN 非搭載 *7, iLO 7 リモート管理用LAN 1Gb × 1(RJ-45)				
	インターフェース		シリアル×1 (オプション、RS-232C、DB-9)、モニター×2 (背面VGA ポート、前面Display Port×1(8SFFモデルおよび12EDSFFモデルのみサポート、オプション)、同時使用不可)、 USB 2.0×2(前面2(8SFFモデルおよび12EDSFFモデルのみサポート、オプション))、USB 3.2 Gen1×5 (背面2、前面1、内部2)、フロントiLO サービス ポート×1				
TPM			オンボード、TPM2.0				
外形寸法 *9			448(W) x 727(D) x 87.5(H) mm		448(W) x 732.5(D) x 87.5(H) mm		448(W) x 727(D) x 87.5(H) mm
質量(最小/最大)			約18kg/約33kg		約23kg/約37kg		約18kg/約33kg
電源			100-120 V (50 / 60 Hz) / 200-240 V (50 / 60 Hz)、最大2、冗長構成対応				
冗長FAN			サポート				
消費電力(定格) *10			AC100V：1097W、AC200V：1904W				
電流(定格) *10			AC100V：11.0A、AC200V：9.6A				
省エネ法 (2021年度)に基づく表示	区分		2				
	エネルギー消費効率 *11		47.5				
VCCI基準 *12			クラスA情報技術装置				
国際エネルギースタープログラム適合モデル			—				
騒音 *13			49dBA				
温度／湿度条件(非動作時)			温度：10～35℃(-30～60℃)／湿度：8～90%(5～95%)但し結露しないこと) ※ASHRAE Class A3(5～40℃), ASHRAE Class A4(5～45℃)でサポートしたい場合、個別にご相談ください				
製品含有化学物質管理			RoHS指令で規定される特定有害物質の使用制限に対応				
サポートOS			サポートOS一覧にてご確認願います。URL：https://www.hitachi.co.jp/products/it/ha8000v/products/os/index.html				

●HDD/SSD/USBメモリーなどの容量表記は、1KB(キロバイト)＝1,000バイトで計算した物理容量です。メモリーの容量表記などで用いる1KiB(キビバイト)＝1,024バイトで計算した論理容量とは表記上同容量でも、実容量は少なくなります。 ***1**：1KiB(キビバイト)＝1,024バイトで計算した容量です。また、使用OSによって搭載可能な最大容量は変わります。***2**：メモリ機能の詳細は「HPE Memory QuickSpecs and Technical White Papers」を参照ください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=sd00002129en_us ***3**：使用するディスプレイやOSの制限などにより、実際に設定できる解像度、表示色が異なる場合があります。***4**：1KB(キロバイト)＝1,000バイトで計算した物理容量です。また、ディスクアレイ最大搭載時スペアドライブ設定不可。***5**：NVMeはVMware環境でのホットプラグ未サポートです。 ***6**：ブートモードはUEFIモードのみのサポートです。(レガシーBIOSモードは非サポートです) ***7**：オンボードLAN非搭載のため、OCPアダプターの搭載を強く推奨します。***8**：アレイコントローラーおよびOCPアダプター搭載用 ***9**：奥行(D)についてはフロントイヤーの後ろ部分からサーバ背面までの寸法です。 ***10**：電源1台のみ搭載時もしくは電源2台搭載で冗長化設定時の値です。電源を2台搭載し非冗長電源として使用時は倍の値となります。***11**：エネルギー消費効率とは、中央演算処理装置、補助記憶装置及び主記憶装置の消費電力あたりの性能を幾何平均して得られる数値です。 ***12**：この装置はクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 ***13**：ISO7779に準拠。設置環境の温度やシステム装置の構成および負荷状態により、本基準値を超えることがあります。